

01

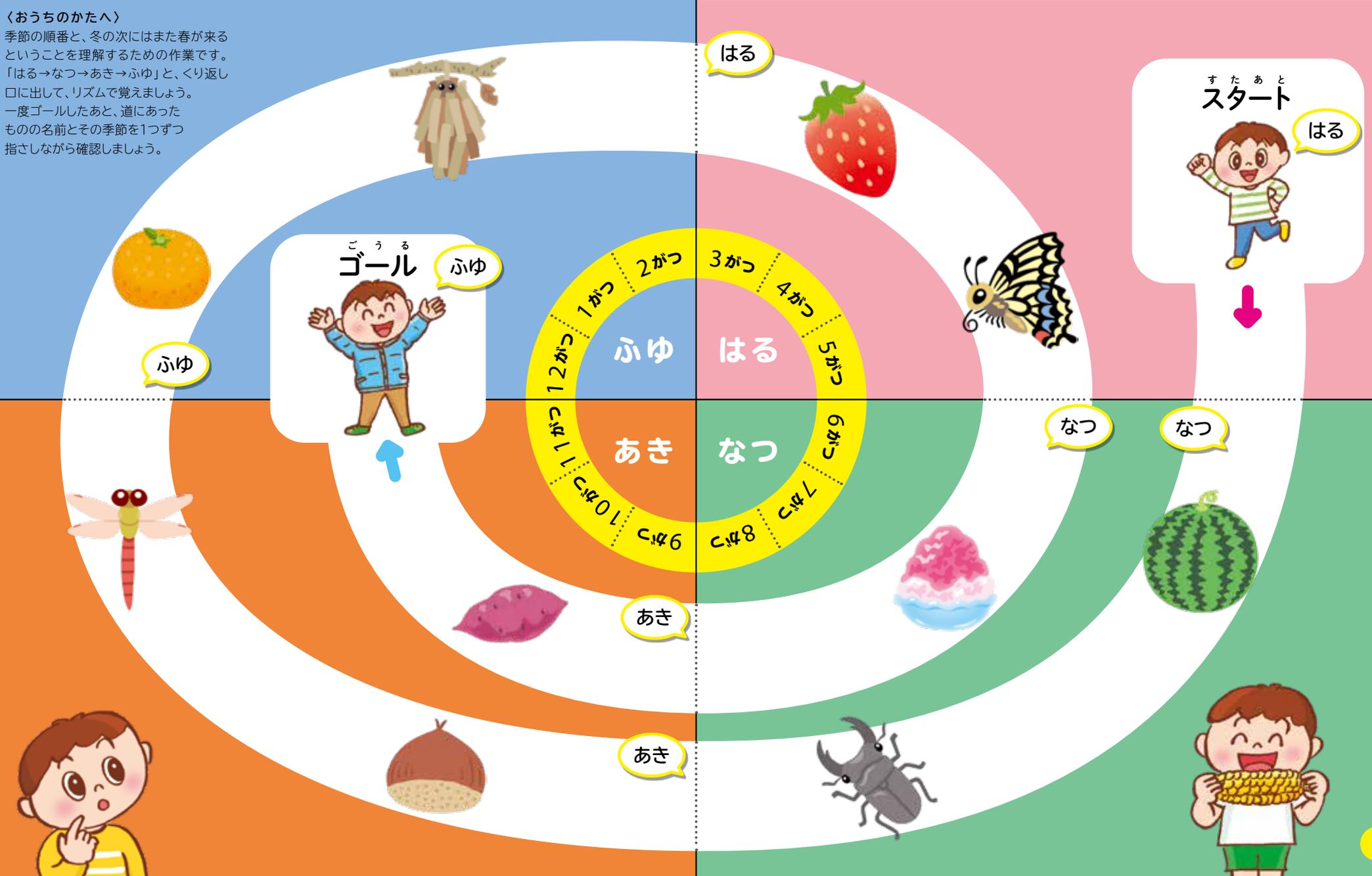
春夏秋冬

➡ から ➡ まで、 **はる** → **なつ** → **あき** → **ふゆ** → **はる** → **なつ** …と
 いいながら すすみましょう。



〈おうちのかたへ〉

季節の順番と、冬の次にはまた春が来る
 ということを理解するための作業です。
 「はる→なつ→あき→ふゆ」と、くり返し
 口に出して、リズムで覚えましょう。
 一度ゴールしたあと、道にあった
 ものの名前とその季節を1つずつ
 指さしながら確認しましょう。



あき

たべもの

りんご

【10～11月】

赤色や緑色のものがあり、日本では東北地方や長野県など寒い地域で栽培されます。ジャムやジュース、お菓子などにも使われます。

Gakken

あき

たべもの

なし

【7～9月】

りんごに似た形をしたくだもので、さっぱりとした甘さが特徴です。日本なしは、幸水のような赤なしと、二十世紀なしのような青なしに分けられます。

Gakken

なつ

たべもの

もも

【夏】

日本では全国各地で栽培されています。丸い形でやわらかく、そのまま食べるほか、缶詰やシロップ漬けにもします。

Gakken

08



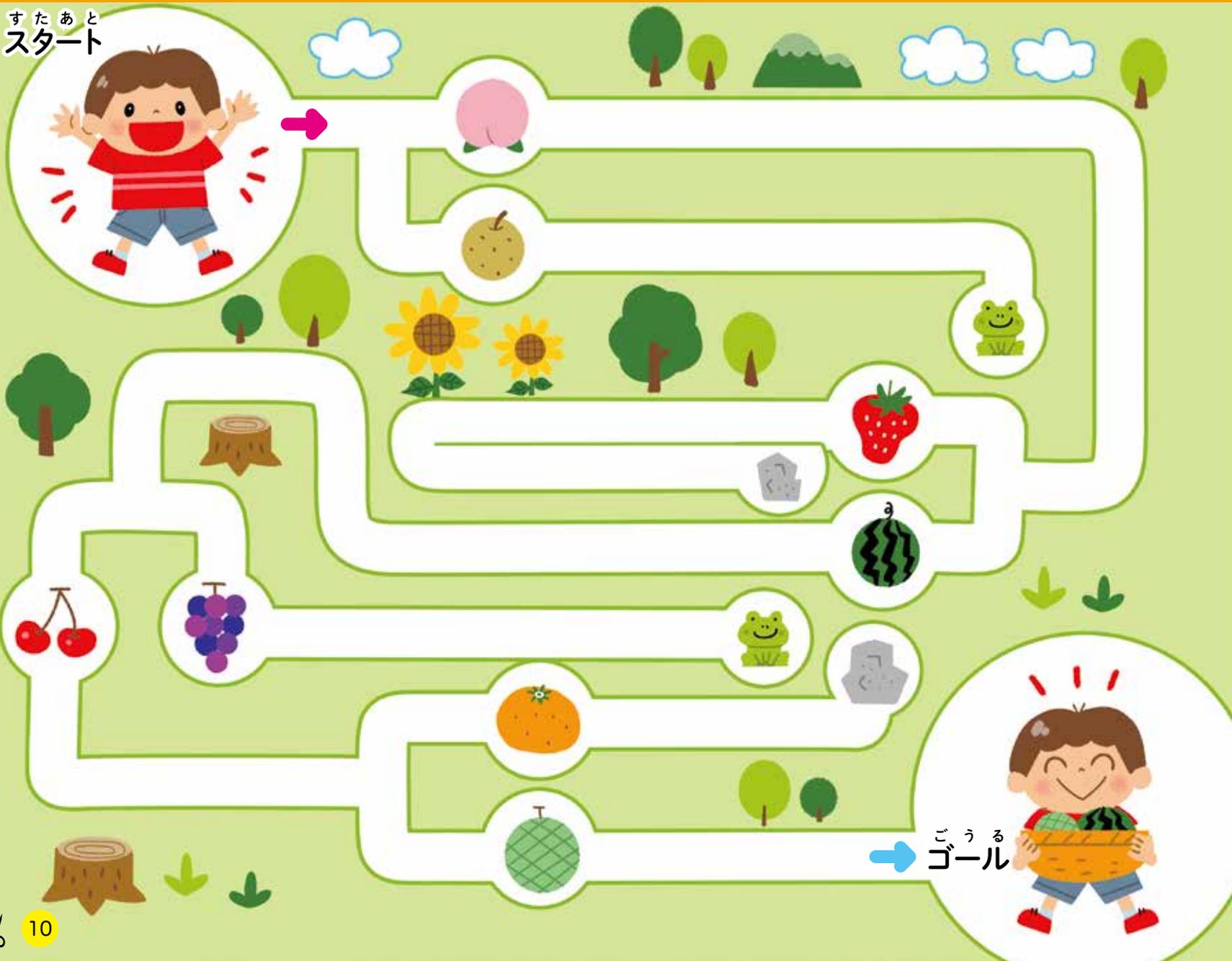
たべもの

なつの たべものの ほうを とおって、

➡ から ➡ まで めいろを すすみましょう。

がんばり
シール

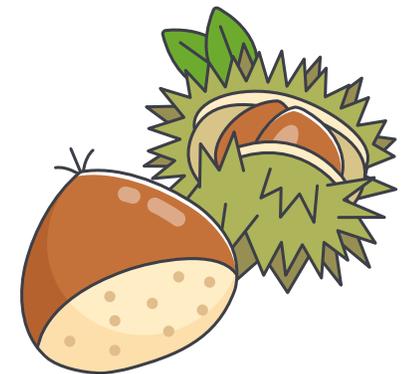
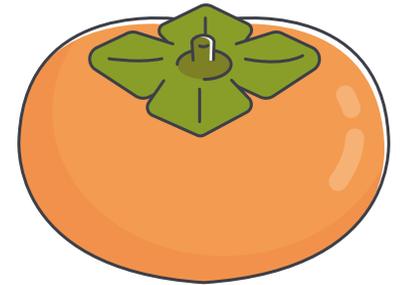
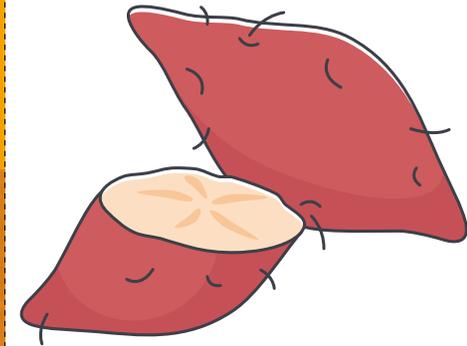
すたあと
スタート





あきの いもほりえんそくで、おおきな さつまいもが
とれました。さつまいもに いろを ぬりましょう。

がんばり
シール



〈おうちのかたへ〉クレヨンの色は、どれを選んでもかまいません。お子さんの好きな色でぬらせてあげましょう。ぬりえでは、濃くしっかりと端までぬり込むことを意識させましょう。そのためには、正しい筆記用具の持ち方を身につけることが大切です。



かぶとむし

【夏】

おすは頭部に兜に似たつのもちます。卵から3回脱皮をしたあとさなぎを経て、8か月ほどで成虫に。夜行性で樹液を吸い、ひと夏だけの命を生きます。

Gakken

23



ひだりの めげがらから でて きた むしは どれですか。

いきもの

●と ○を せんで つなぎましょう。



くわがたむし

【5～10月】

おすの大あごが兜の飾り「くわがた鍬形」に似ていることから、この名がつけました。成虫は樹液を吸って生きます。3年以上生きるものもいます。

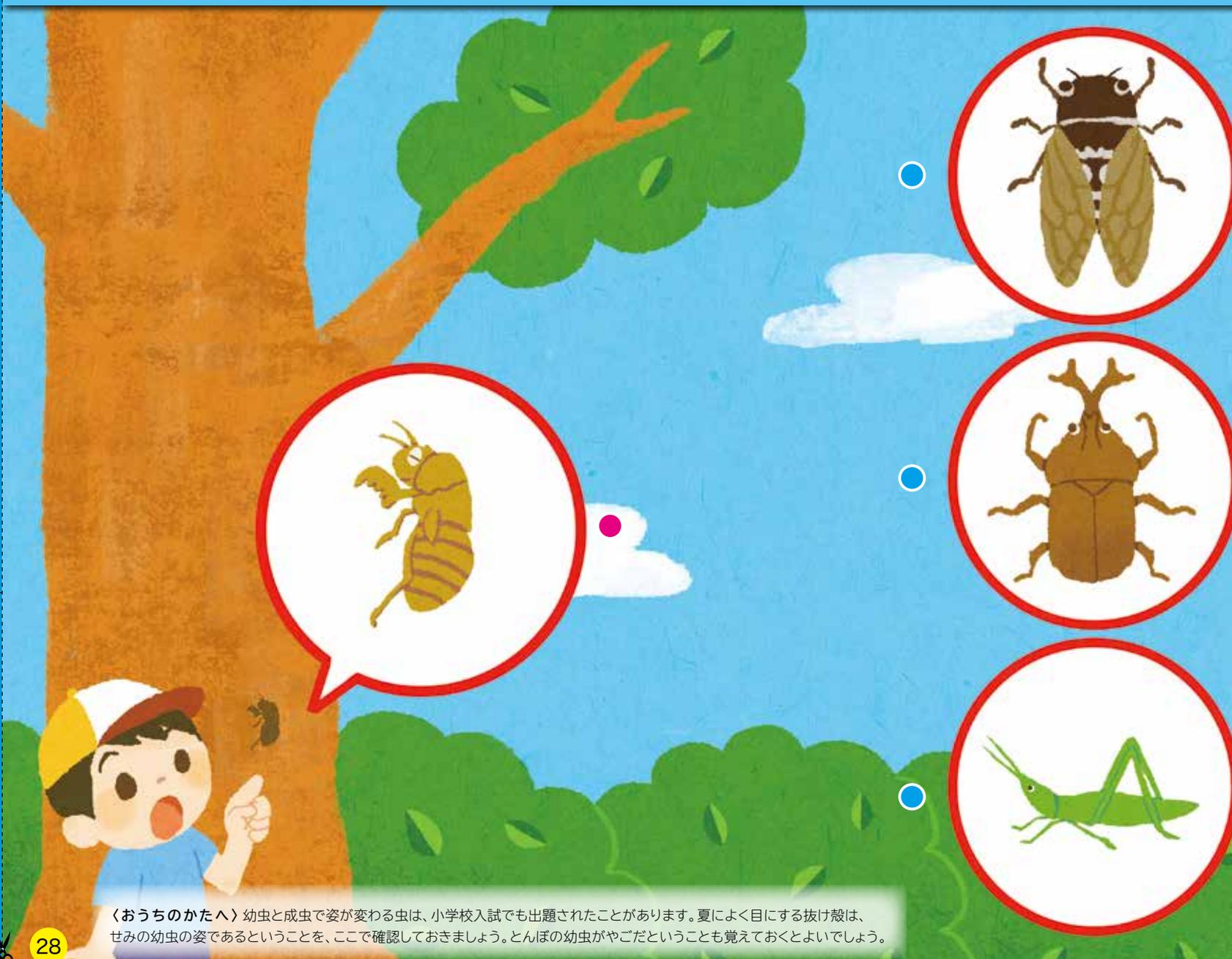
Gakken

せみ

【7～9月】

おすは腹の中に発音器をもち、昆虫の中でもっとも大きな声で鳴きます。幼虫は土の中で1～5年ほど過ごし、成虫になったあとの寿命は1か月ほどです。

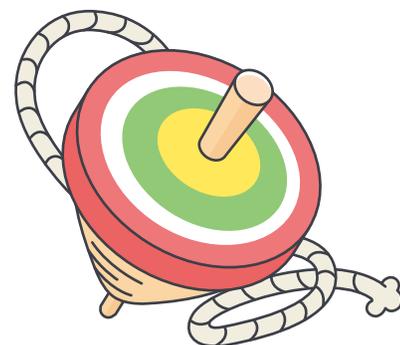
Gakken



〈おうちのかたへ〉幼虫と成虫で姿が変わる虫は、小学校入試でも出題されたことがあります。夏によく目にする抜け殻は、せみの幼虫の姿であるということ、ここで確認しておきましょう。とんぼの幼虫がやごだということも覚えておくとよいでしょう。



みほんの えと ちがう ところを 1つずつ みつけて、
 したの えに ○を つけましょう。



みほん



みほん



みほん



〈おうちのかたへ〉 昔から伝わるお正月の代表的な遊びを集めました。お子さんが間違いを1つずつ見つけられたら、「みほん」のたこ、羽子板、こまを指さしながら「これは何？」と質問してみましょう。

